

# 建設通信新聞 2019.3.15

**WEBで読む「建設通信新聞」**  
<http://kensetsunews.com>  
 Pで「建設通信新聞」を検索・メール配信  
 工事現場の最新情報「建設工事の動向」  
<https://ugoki.kensetsunews.com/>

**THE KENSETSU TSUSHIN SHIMBUN**  
**建設通信新聞**  
*Architectures, Constructions & Engineering News(Daily)*

(12)

**人造石建材の需要増に対応**

アカ工業、茨城に新工場  
 建装建材拡販の力ぎり握る新拠点

現場から

**カウンターの総合メーカー目指す**

アイカ工業 茨城に新工場  
 ガラス張りの外観

**インフラ輸出の陥落**

**建設評論**

**共住民の自助・共助を支援**

**災害時 ICTサービス「ゆいばた」**

**導入1000棟超える実績**

**防災・減災、強靭化に積極的な予算計上**

**テンフィートライト**

**技術裏表**

**共住民の自助・共助を支援**

**災害時 ICTサービス「ゆいばた」**

多発する灾害への備えとして注目を集めている。

ゆいばたは、ウェブブラウザから閲覧できるサービスで、通常モードと災害モードで構成する。日常的にはマンションの防災マニュアルや備蓄品などが確認できる通常モードが表示されるが、設定した震度以上での緊急地震速報を受信すると災害モードに自動で切り替わる。災害モードになると安否確認メールが送信され、自身の安否状況の登録や家族の安否、位置情報を共有できる。

安否未登録者や要救助者の情報はマンション住民で共有でき、迅速な救助につながる。住民間の連絡などが確認できる。

ゆいばたは、マンションの住民からも「近所に見守られている安心感がある」といった感想が寄せられるなど、マンションの共助に一役買っている。城戸氏は「マンションのコミュニティに寄り添い、育実に評価をいただいている」と手応えを語る。

シリック・トーカー・モード、データ共有機能などを備えた「ゆいばた」は、災害時に重要な役割を担うとしている。災害発生時はマンションの住民から管理会社に家族の安否確認や建物の被害、復旧状況に関する問い合わせが多く寄せられる一方で、管理会社が一度問い合わせた後はほとんど問い合わせがない。そのため、「管理会社がリスクマネジメントとして、ゆいばたを管理受託するマンションに提供するサービスが増えて」と城戸氏は説明する。

ゆいばたは、「互いに助け合う」などを意味する「結い」と、「ポータルサイト」を組み合わせて命名された。実際にゆいばたを導入された、実際のところ

シリック・トーカー・モード、データ共有機能などを備えた「ゆいばた」は、災害時に重要な役割を担うとしている。災害発生時はマンションの住民から管理会社に家族の安否確認や建物の被害、復旧状況に関する問い合わせが多く寄せられる一方で、管理会社が一度問い合わせた後はほとんど問い合わせがない。そのため、「管理会社がリスクマネジメントとして、ゆいばたを管理受託するマンションに提供するサービスが増えて」と城戸氏は説明する。

ゆいばたは、「互いに助け合う」などを意味する「結い」と、「ポータルサイト」を組み合わせて命名された。実際にゆいばたを導入された、実際のところ